

若手メンバーで挑んだ大規模工事が無事完了

中部縦貫自動車道大野油坂道路の勝原IC～九頭竜IC間9.5kmが令和5年10月28日17時に開通しました。この区間にある全長5kmの大型トンネルのうち約2.3kmを日本道路㈱関西支店が担当しました。コンクリート舗装で使用するスリップフォームペーパーの3次元マシンコントロールや、レーザースキャナによる3D測定など最先端のICT施工を導入。10社以上の隣接工業者が



関わる工事のため、細かなスケジュール調整を心掛けました。これで中部縦貫自動車道のうち福井北ICから岐阜県境に至る福井県内区間の7割超が供用されることになります。

国内初の廃漁網を活用したアスファルト改質材

日本道路㈱と花王㈱は製網業界と連携し、今まで廃棄処分されていたPET製漁網を原料の一部としたアスファルト改質剤を開発しました。この取組みは宮城県の「みやぎ産業廃棄物3R等推進事業費補助金（研究開発等）」に採択されました。宮城県岩沼市の県道舗装に試験導入し、今後の実用に向けわだち掘れなどの数値を確認していきます。将来的には廃アスファルトをさらに再生し、廃棄物の地域内循環利用を目指します。



ハイウェイテクノフェア2023に出展

高速道路の建設、管理に関する新技術、新工法、資機材および現場支援システムなどを一堂に集めた展示会「ハイウェイテクノフェア2023」が11月9日・10日に東京ビッグサイトで開催されました。当社は「清水建設グループ」として、清水建設株式会社、エヌディー



リース・システム株式会社、日本ファブテック株式会社、株式会社エスシー・プレコンと共に5社共同で出展しました。

関東学院大学で出張授業

2023年11月7日、日本道路東京支店は関東学院大学で出張授業を行いました。東京技術センターのICTアドバイザーと同大学のOB3名が講師となり、レーザースキャナー、GNSS測量、ドローン測量などの最新測量機器の概要を紹介したのち、構内にてレーザースキャナーによる3D測量などの測量実習を実施しました。実習後は測定したデータを解析し、現場での具体的な活用方法について講義しました。日本道路では今後も各大学と連携し、出張授業やインターンシップを通して建設業の魅力を発信していきます。



日本道路本社ビル一時移転のお知らせ

現在の本社ビルは、1965年に竣工して以来、58年が経過し老朽化が進行していることから、新本社ビルの建替えを計画していることに伴い、一時的に移転を行います。

- 移転先
東京都港区芝浦1-2-3
シーバンスS館 7階

- 移転日
2023年11月1日



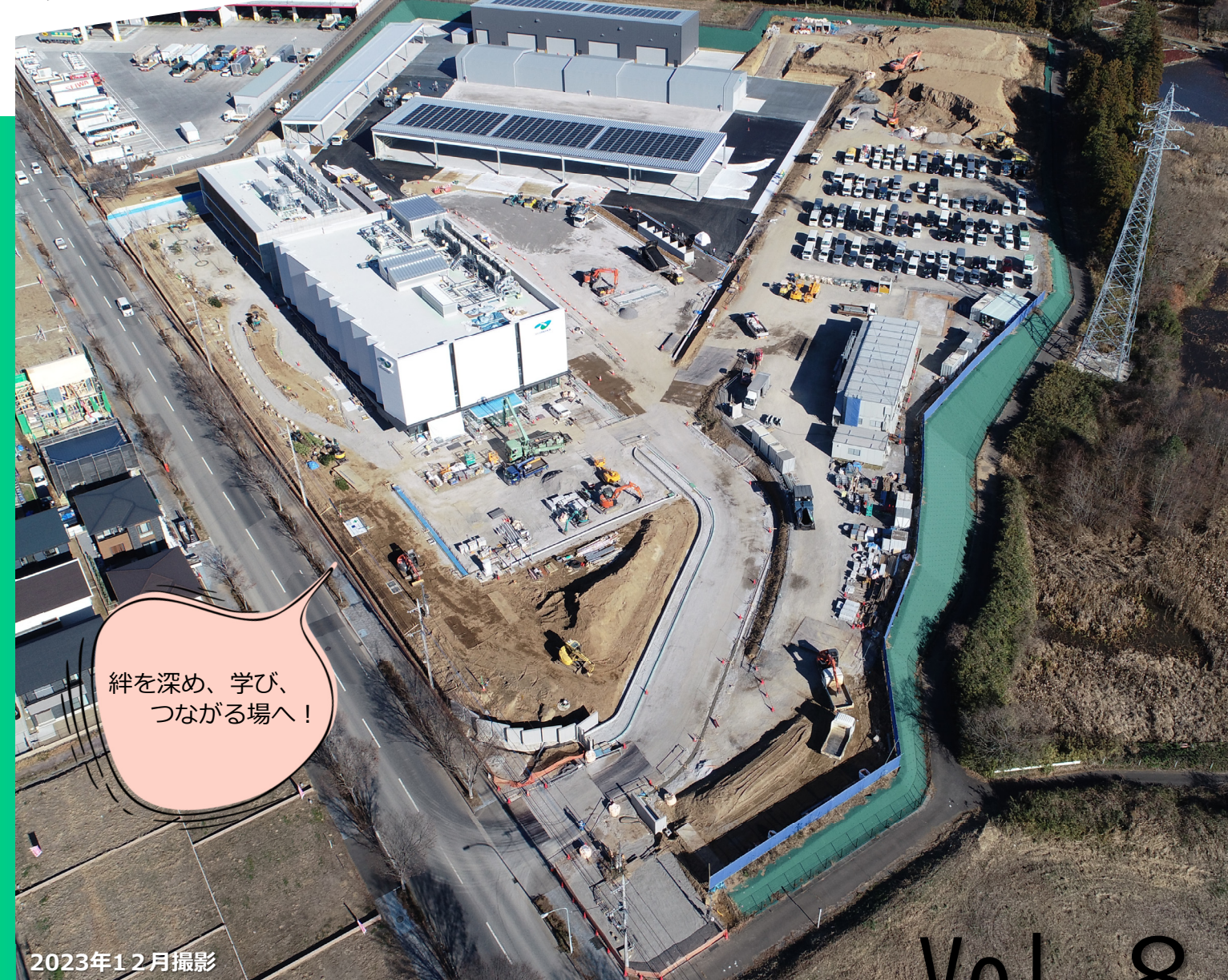
シーバンスS館

『NICHIDO VIEW』Vol.8について

今回は土浦に建設中の複合施設「土浦テクノBASE」についてご紹介しました。現場事務所にはカメラが取り付けられており、日本道路本社のモニターからリアルタイムで確認できるようになっています。12月から舗装工事も始まり、慌ただしくなってきました。Vol.6でご紹介した「アスファルトフィニッシャの自動操舵・自動伸縮システム」も活用中です。屋外には快適歩走やPETアスコンなど様々な特殊技術を表示する予定です。実物を見たり、触ったり、舗装の上を歩くこともできます。ご来訪の際は、ぜひ体感してみてください。

(発信力強化ワーキンググループ)

NICHIDO VIEW



絆を深め、学び、
つながる場へ！

2023年12月撮影

Vol. 8

特集 社員・顧客・地域とつながる複合施設

～「技術の日本道路」の永続的な進化の実現を目指す～

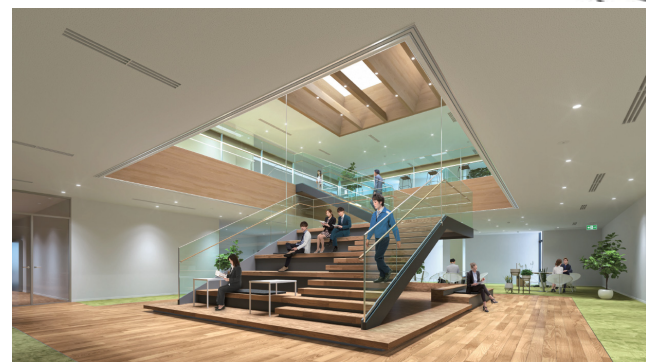
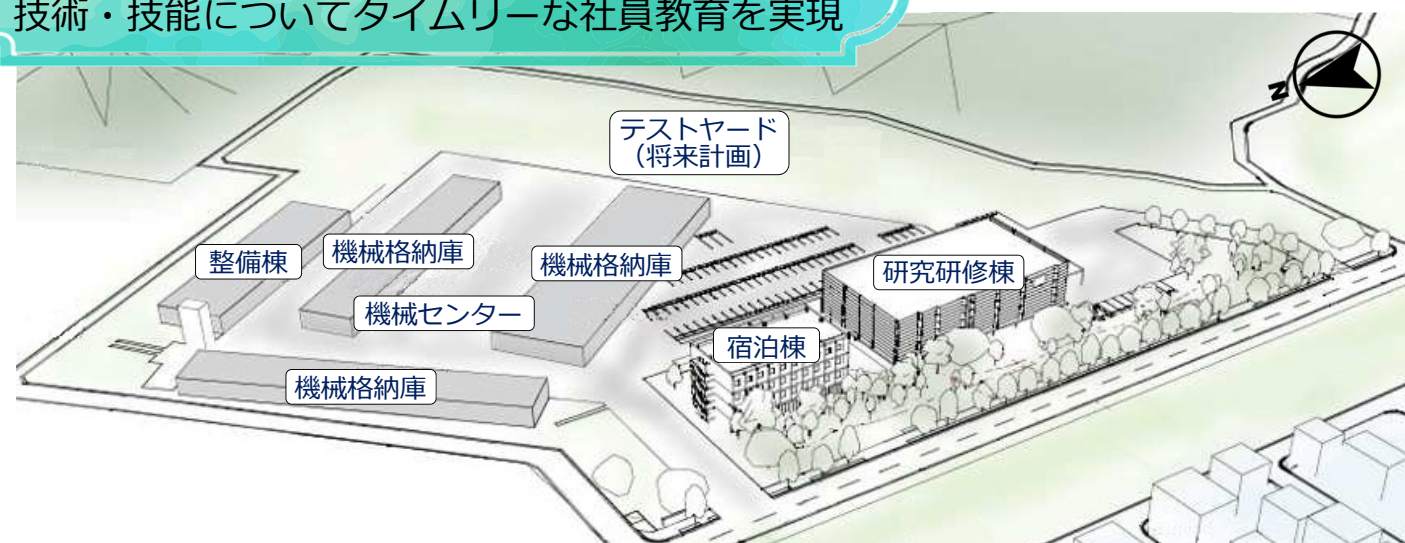


土浦テクノBASE

2029年に創立100周年を迎える日本道路。その実績と信頼を未来へ引き継ぐため、100周年事業として新たな複合施設を2024年4月の運用開始を目指し建設中です。シミズグループで取組む本プロジェクトのコンセプトやこだわりをご紹介します。



技術研究所、機械センターの併設により、技術・技能についてタイムリーな社員教育を実現



Point! 01 研究研修棟 2階 大階段

大階段を中心に社員同士の会話が自然と始まるようなインフォーマルなコミュニケーションを生み出します。「日本道路の森」がある高知県梼原町の木材を使用する予定です。



Point! 02 研究研修棟 3階

フリーアドレスを導入することで、社内コミュニケーションの活性化と個人の生産性向上を目指します。

『技術の日本道路』の永続的な進化の実現を目指し、日本道路の価値を体感できる場へ

本施設は、社員研修施設・技術研究所・機械センターの3つの機能を統合。社員・顧客・地域（住民や学生など）の方々に、日本道路の技術力やソリューションの数々、道の先の「未知」を切り拓くビジョン、そして常に挑戦を続けてきた当社のDNAを、体験をとおしてお伝えします。

共生する ～地域と共生する～

エコ・ファースト企業としてZEB認証の取得など、地球環境にも配慮。また、災害時の避難所や地域交流の場として活用するなど地域の安心・安全に貢献し、ともに持続可能な社会の実現を目指す。

共創する ～顧客と共創する～

当社の技術力を発信するため、工法・製品のショールームの展示などを計画。そして、建材・道路素材の開発やグリーンインフラ実現のための実証実験など、研究機関や企業などとコラボレーションする場と機会を提供する。

つながる ～社員とつながる～

「他の部署の仕事を知りたい」「日本道路の最先端技術を習得したい」など、社員の能動的な「知りたい」「学びたい」を実現できる機会を提供。スキルアップを図るとともに、社員が当社の魅力を外部に伝えるきっかけとする。

日本道路の価値を 伝えるショールーム

ショールーム検討
ワーキンググループ
川村リーダー

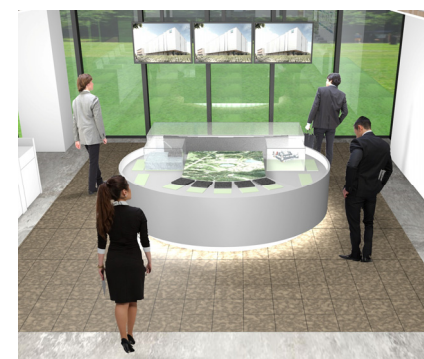


「土浦テクノBASE」内に当社の技術を紹介するショールームが建設されます。アスファルト舗装工事の基本的なプロセスから、技術研究所が開発した最先端の技術を模型・動画・パネルでご紹介します。見て・触れて・学べる、見学者の理解深耕につながる施設となるよう、現在ショールーム検討ワーキングで奮闘中です。



Point! 01 アスファルト舗装の製造プロセス

アスファルトの製造プロセスからリサイクル循環を1/50模型で視覚的に表現。アスファルトプラントの構造やアスファルト舗装工事の流れについて、模型や映像で学ぶことができます。



Point! 02 日本道路の新たな取組み

中央につくった仮想の街で日本道路グループが手掛ける事業領域を解説します。周囲には自動車テストコースや海洋工法などの特殊工法の取組みをご紹介します。モニターでは遠隔操作技術を体験できます。



Point! 03 100年の信頼と実績の歩み

社会の出来事とともに、日本道路グループの実績や歴史を紹介します。中央のガラス内部には、当時から代表する写真や作業着、社内報など日本道路グループの歴史を感じられるものを展示します。